

「企業の人格」通信

～「企業の人格」を伝え、企業ブランドを育む～

発行元:株式会社AGENCY ONE
〒227-0044
神奈川県横浜市青葉区もえぎ野15-63
mail.info@agency1.co.jp
http://agency1.co.jp

広報・PR(パブリック・リレーションズ)とは、全ての利害関係者に「企業の人格」を伝え、企業ブランドを育む営みです。当社は、企業が日々の営みや息づかい、舞台裏などを伝えることで利害関係者からの共感を獲得することを「ブランディングPR」と銘打ち、ブランドとはその共感の塊であると定義しました。

当ニュースレターでは、ブランディングPRに果敢に取り組む企業を紹介します。第1回では、良質で価格帯を押さえた公式スマホアプリを中小企業や大学、個人など300社以上に提供する株式会社アプリクッキングの代表取締役 山下大輔氏とブランドマネジャーの高戸菜摘さんにインタビューしました。IT系企業でありながら紙媒体を駆使した、その広報活動を紹介します。

インタビューは当社代表取締役荒木洋二が担当しました。



わが社のブランディングPR 第1回 株式会社アプリクッキング

スマホ公式アプリの実績300社以上 月2回のニュースレター、月1回の導入事例集を紙媒体で発行



公式ニュースレター「アプリクッキングNEWS」と導入事例集「ほやほや」



山下 大輔社長

荒木:いつ頃から広報活動に取り組み始めたのでしょうか？

山下社長:アプリクッキングを創業してこの8月でちょうど2年が経ちました。取り組み始めたのは創業後1年が経った2016年の夏頃からです。最初はプレスリリースを発信するだけでした。もともと広報をよく知らないし分かっていませんでした。そんな時に日本経済新聞の記者に当時新しいサービスとして展開する準備をしていた「Biz10(ビズテン)」について取材してもらう機会に恵まれました。その結果、今年の1月に日経産業新聞に初めて掲載されました。なるほど、こうなるんだと思っていて、これまであまり反響のなかった大手からも連絡がきました。

荒木:自社の広報紙、公式ニュースレター「アプリクッキングNEWS」に

ついて詳細を教えてください。毎回趣向を凝らして内容も変えていますね。編集方針や内容は社内で毎回どういう体制で決めているのですか？
ブランドマネジャー高戸菜摘さん:半年前くらい(2017年3月)からです。ニュースレターは毎月10日と25日の2回、発行しています。

山下社長:基本的にはお客さま向けです。いろんな業種のかたがアプリを使っているので、業種別の使い方など情報を共有しています。弊社にはお客さま全ての情報が集まるので、それが一番お客さまに還元できる財産かなと思って、それを公開しています。

高戸さん:毎月1回、1カ月に発行する2回分の企画の打ち合わせをする機会を設けています。アプリクッキングのメンバー全員、4人で行います。



現場に出ている人たちからの意見の方が弊社としても発信するものとして参考になります。主に現場に出ている2人がどういってお客さまにどんな情報を発信したいかというものを挙げてもらって、その中からニュースになりそうなものをまとめて、今月はこれとこれをテーマに行きましょうという感じでテーマ決めをしています。

企画会議で決めた内容をもとにその中でどういうものをピックアップするかというのを一旦私で原案を考えて、原稿執筆はメインの内容は山下にお願いしています。その他はいろいろ担当を振り分けています。レイアウトやデザインを起こすのも全部私が担当しています。

お客さまには郵送しています。1回で600部くらいですね。印刷は全部で1000部弱、800部くらいです。ネット印刷ですと1部10円、8,000円程度と驚くほど安価です。山下社長:展示会に出展した時や営業資料としても商談の時に使っています。お客さまの反応は非常に良好ですね。一番最近思うのは、結局弊社が提供するようなWebのサービスはお客さまに使ってもらわないと何も始まりません。でも、創意工夫して使っている他社の事例をお客さまに多数示すことで、十分使えていない会社さんのモチベーションがいい意味で上がればいいなと思っています。

お客さま以外にはアプリ導入を検討中の会社などにも送っています。郵送したことがきっかけで先方の会社さんのニーズにちょうど合ったように連絡を頂くことももちろんあります。

荒木: アプリのお客さまはどのような業種が多いのでしょうか?

高戸さん: 中小規模の工務店、住宅会社が多く、住宅会社はイベントの集客やメンテナンス情報提供で利用しています。モデルハウスに来た人に対して積極的にアプリを案内し、その後のフォロー活動で利用されているケースが多いと思います。



高戸 菜摘さん

高戸さん: 『アプリクッキングNEWS』以外に導入したばかりのお客さまを取材した『ほやほや』という導入事例集を今年の5月から発行しています。

山下社長: 弊社が提供するアプリ自体が目新しいもので、まだ一般的に馴染みが薄く理解しづらいので、とにかく事例を紹介していこうということで始めました。アプリを納品するタイミングで取材して、それで「できたて、ほやほや」なのでこのようなネーミングにしました。お寺のアプリや新しくおもしろいものを中心に取り上げています。ニュースレターなどの広報活動をしてみて分かったのは、パンフレットよりも営業資料としても効果があります。

荒木: ありがとうございます。これからの活躍を期待しています。

アプリクッキング社の取り組み

- | | |
|------------------------|------------------|
| ●ニュースレター『アプリクッキングNEWS』 | ●導入事例集『ほやほや』 |
| ・発行頻度: 毎月10日・25日 | ・発行頻度: 毎月00日 |
| ・発行部数: 800部 | ・発行部数: 800部 |
| ・A4判4頁 | ・A5判24頁 |
| ・配布対象: 顧客、新規顧客候補 | ・配布対象: 顧客、新規顧客候補 |

会社概要

名 称 : 株式会社アプリクッキング
 創 業 : 2015年8月24日
 代表取締役社長 : 山下大輔
 資 本 金 : 1000万円
 本 社 所 在 地 : 東京都中央区東日本橋2-11-5
 神 戸 支 社 : 兵庫県神戸市中央区下山手通3-15-3 キャセイビル3階
 従 業 員 : 20人(アルバイト、パート含む)
 事 業 内 容 : スマホアプリ制作、WEBマーケティングコンサルティング

A1 Partners 第1回 yoda design office

当コーナーでは、私たちAGENCY ONE(略称、A1)とともに顧客企業のブランディングPRをそれぞれの専門能力を駆使しながら支援するパートナーたちを紹介します。



代表 依田 強(よだ・つよし)氏 プロフィール

1968年東京生まれ。2004年広告代理店を経て、依田デザイン事務所を立ち上げ アートディレクターとして活動する。広告代理店時代は外資系企業のブランディングや広告などの、デザインを数多く手がける。現在は多種多様なメディア、製品に対し、企画、ディレクション、デザインをトータルで行いつつ、企業のコンサルティングも総合的に務める。

Q.当社とどのような仕事で関わっていますか?

A1さんが掲げている「企業の人格」という言葉があります。まさに会社は大きく見えますが、個人の集団です。企業の営みにおいては一人一人がきちんと企業理念に基づいた人格を持つということが、大切なことだと思います。

A1さんとのお仕事では、主にデザインを担当させていただいています。まず、デザインする前に、十分な話し合いで内容を理解し整理し、そして核になる部分を企業と一緒に模索し、ゴールへ導いていきます。この過程を経てデザインが深みを増し立体的に完成する

ことを私たちは大切にしています。

見栄えの中に企業の理念・主張・価値観が反映されなければ、デザインはただの平面でしかありません。ロゴはもちろんブランドブック制作やニュースレター、ウェブサイトデザインなど広く承っておりますが、その全てが企業の象徴であるためには見えないものを「カタチ」にする必要があります。多くの要素を理解し整理し削ぎ落とした先に見えるのはデザインされたコミュニケーションです。それが目に触れ伝わることが私たちの喜びです。

当社から一言!
<ここが「企業の人格」>

ロゴ一つでも、クライアントの理念や事業を深く考察し理解してからデザインに取り掛かる。そんな姿勢の依田さんを心から信頼しています!